



Kotaro Hirai
平井 興太郎 さん

紺屋町町内会長として、地縁の和を大切にしまちづくりに取り組み、また市町内会連合会地域振興部会長や副会長、会長を歴任し、住民自治の発展などに寄与した。さらに、紺屋町番屋の保存に取り組むなど、市の文化財保存・継承活動にも貢献
(昭和15年生まれ・紺屋町在住)

住民自治の発展と文化財保存・継承

昔ながらの建物が残る紺屋町は、観光や修学旅行で訪れる人も多く、明るく美しい街づくりを意識した地域活動を行ってきました。中津川沿いに咲く忘れな草を「街の花」として、約100個の木製プランターに植えて軒先に置き、行き交う人に楽しんでもらった取り組みなどが思い出深いですね。紺屋町のシンボルの一つ「紺屋町番屋」が、活用に向けていよいよ動き始めたので、大いに期待しています。一方、市内にある町内会・自治会は地域性も規模も、そして抱える課題もさまざま。5月に退任しましたが、市町内会連合会長として地域に寄り添って課題を把握することに努めてきました。今後もコミュニケーションを取りながら、市と一体になって盛岡の街を良くして行ってほしいですね。



Kazuko Saigo
西郷 和子 さん

市の保護庭園「一ノ倉邸」の保存活動に尽力し、一ノ倉邸管理保存委員会会長として、長きにわたり建物と保護庭園の環境維持に寄与した。庭園内では、県下第一号となる、株分けされた震災復興の象徴「中尊寺ハス」の栽培を行ったほか、さまざまな企画で施設の活用に貢献
(昭和16年生まれ・館向町在住)

保護庭園と建物の環境維持と有効活用

明治期に建てられた一ノ倉邸の、18祀もある継ぎ目のない軒桁や神代杉の欄間、玄関の格子戸などを見て、この建物を次の世代に残したいと強く思いました。当時、荒れ果てて解体も検討されていたこの建物を、仲間と一緒に掃除したところ、懐かしい風情がよみがえり、市が保存を決断。一般公開につなげることができました。以来、県内外からたくさんの方が見学に訪れ、子どもには物珍しく、また高齢者には懐かしい思いに浸ることができる場所として親しまれています。2月から3月にかけて開催している「ひな遊ぶ」は、全国から毎年問い合わせがあり、一ノ倉邸のイベントとして定着しました。これからも、皆さんに気楽に立ち寄りしてほしいです。

令和2年度 市勢振興功労者

市勢の発展に尽くした功績を表彰

本年度の市勢振興功労者に3人と1団体が選ばれました。市勢振興功労者表彰は、公共の福祉の増進と市勢の進展に尽くした功績が顕著な人または団体を顕彰するもので、市で最高の栄誉ある表彰です。受賞者は、学識経験者や市議会議員

などで構成する市表彰選考委員会の答申を受けて決定しました。本年度の受賞を含め、これまでに321人と25団体を表彰。表彰式は11月3日(火)、中央公民館(愛宕町)で開催します。
【問】総務課☎626-7513【広報ID】1021192



Toshiyuki Akasaka
赤坂 俊幸 さん

盛岡市私立保育所協会の会長として、各園の経営基盤強化や人材育成支援、保育サービス向上に取り組み、市の保育事業の振興に尽力。また三ツ割自治会会長、仁王地区福祉推進協議会会長として、住民相互の融和を図るとともに、地区の振興と住民の福祉向上に貢献
(昭和23年生まれ・名須川町在住)

保育事業の振興と住民福祉の向上

保育園によって、規模も運営方針もさまざまある中で、保育を取り巻く課題を洗い出し、改善につなげていくには、情報共有と園同士の横の連携が大切だと考えています。公立保育所民営化の流れなどもあり、私立保育所協会に加入する保育園も増え、園長らと話し合いを持つ場も増えました。行政への対応も含めて、そのつなぎ役でありたいと意識して取り組んでいます。少子化の時代を迎え、保育施設の在り方や保育士の確保など、さらなる社会的変化が訪れるでしょう。一方で、保育の質もきめ細やかさが求められています。その変化に対応できるよう、これまで以上に横のつながりを大切に、知恵を出し合いながら勉強していきたいですね。



Morioka-Victoria
Friendship Society
盛岡ビクトリア
友好協会

会長 坂下 陽市さん
カナダ・ビクトリア市との姉妹都市交流に尽力。公式訪問の折には100人を超える市民訪問団を結成するなど、積極的な市民交流により絆を深めている。長年の交流は、カナダのホストタウン誘致に結びついた

姉妹都市交流の推進と国際交流

昭和59年に新渡戸稲造博士が五千円札の肖像となったことを機に、有志でビクトリア市と交流を始め、活動をさらに広げようと平成12年に友好協会を設立しました。今日まで交流を続けてこれたのは、ビクトリア市の皆さんの温かさに支えられたことが大きいですね。さまざまな思い出がありますが、新渡戸が亡くなったビクトリア市ロイヤルジュビリー病院に新渡戸記念庭園を整備したこと、そして姉妹都市提携30周年を記念して「友情の鐘」を制作・寄贈したことが、強く印象に残っています。これまでの絆を大切にしながら、これからも相互の交流を深め、「夢と希望ある盛岡を創造する人づくり」に尽力したいですね。

もりけんに挑戦
(11ページに掲載)の答え
①オシヨス

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

新型コロナの影響で自粛していたイベントなどが各地で復活してきました。市内でもさまざまなイベントが開催されますので、ぜひ足を運んでみてください!(佐藤)



地球環境に配慮し、ベジタブルインキを使用しています。